純資産の部	
株主資本	12,517
資本金	4,000
資本剰余金	
資本準備金	4,000
利益剰余金	
その他利益剰余金	4,517
純資産合計	12,517
負債・純資産合計	39,273

損　益　計　算　書　の　要　旨

（平成22年４月１日から平成23年３月31日まで）

（単位：百万円）

科　　目	金　　額
高速道路事業営業損益	
営業収益	61,002
営業費用	60,633
高速道路事業営業利益	369
関連事業営業損益	
営業収益	1,574
営業費用	1,474
関連事業営業利益	100
全事業営業利益	469
営業外収益	179
営業外費用	42
経常利益	606
特別利益	18
特別損失	251
税引前当期純利益	373
法人税、住民税及び事業税	250
過年度法人税、住民税及び事業税	67
当期純利益	55

2　主たる事務所の所在地、ディスクロージャー担当部署及びその電話番号

⑴　主たる事務所の所在地　兵庫県神戸市中央区小野柄通四丁目１番22号

⑵　ディスクロージャー担当部署　総務部総務課

⑶　電話番号　078―291―1000（代表）

3　平成22事業年度の事業報告の概要

当期の高速道路事業については、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構との間で締結した協定及び国土交通大臣から認可を受けた事業計画に基づき適切な道路管理を行い、お客様に安全、安心、快適に利用していただくとともに、橋梁や道路の万全な維持管理に努めた。

当期の本四道路の通行台数＊は38,527千台と、前期比で2.0％増、料金収入も55,702百万円と、前期比で4.0％増となった。これに、道路資産完成高5,178百万円及びその他の売上高121百万円を加え、高速道路事業の営業収益は、61,002百万円となった。

関連事業については、高速道路の休憩所、給油所等の管理や受託事業などを実施し、お客様や地域の皆様などへの多彩なサービスの提供や技術支援等に努めた。

これらの関連事業全体の営業収益は、1,574百万円となった。

当期の高速道路事業営業損益は、料金収入等からなる営業収益が61,002百万円、営業費用は60,633百万円となり、高速道路事業営業利益は369百万円となった。また、関連事業営業損益は、サービスエリア・パーキングエリア賃貸料や受託事業収入などを合わせた営業収益が1,574百万円、営業費用は1,474百万円となり、関連事業営業利益は100百万円となった。

この結果、両者を合わせた全事業営業利益は469百万円となり、これに、営業外収益179百万円と営業外費用42百万円を加減した経常利益は、606百万円となり、特別利益18百万円と特別損失251百万円を加減し、法人税などを差し引いた当期純利益は55百万円となった。

＊　出口の年累計交通量

4　国からの出資金及び補助金等の額（平成23事業年度予算）

該当無し

5　関係会社一覧

会　　社　　名	資　　本　　金	出資比率
ＪＢハイウェイサービス株式会社	50百万円	100%
株式会社ブリッジ・エンジニアリング	50百万円	100%
ＪＢトールシステム株式会社	30百万円	100%

6　組織の概要

⑴　定数

定款により取締役８名以内、監査役４名以内

⑵　取締役及び監査役の氏名等（平成23年３月31日現在）

地　　位	氏　　名	担　　当
代表取締役社長	伊藤　周雄	会社の経営の総理
取　締　役	吉田　悦郎	常務執行役員（総務部、観光・お客様サービス室及び監査室担当）
取　締　役	岸本　良孝	常務執行役員（経営計画室、安全技術部、保全部及び長大橋技術センター担当）
取　締　役	上野進一郎	常務執行役員（企画部及び業務部担当）
監査役（常勤）	小田　勝士	
監査役（非常勤）	新　　尚一	
監査役（非常勤）	本多　佑三	

⑶　社員数（平成23年３月31日現在）

393人